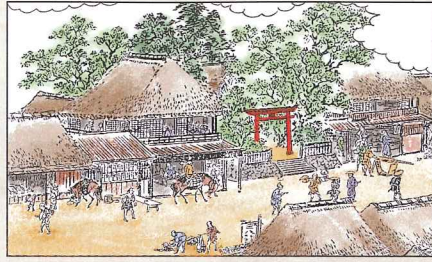


成田街道と酒々井宿

江戸時代、徳川家康により町立てが行われた酒々井町は佐倉の城下町として、また江戸幕府直轄の「佐倉牧」の野馬会所・御払い場として、さらには成田山や宗吾霊堂、芝山不動尊への参詣客の宿場町として多くの人々にぎわっていました。



酒々井駅の図「成田参詣記」より

野馬会所跡 [のまかいしょあと] 57

江戸幕府の牧場である佐倉七牧を管理していた野馬会所の跡。野馬会所は牧士と呼ばれる、千葉氏の旧臣で馬奉行をしていた家系の人々が江戸幕府に仕えて運営していた。馬は軍事、運搬、農耕に欠かせないもので、ここでは毎年100頭を超える馬が数千両で取引された。

勝蔵院 [しょうぞういん] 44

真言宗。本尊は不動明王。もと東台不動山(現、中央台3丁目)にあった不動堂を佐倉藩主戸田能登守忠貞元禄十二年(1699)に現在の地に移転建立する。通称酒々井の不動さま。今に残る本堂(町指定)、不動明王像(町指定)、仁王像はこの時に造られたもの。



八坂神社 [やさかじんじや] 60



を練り歩くもので勇壮な行事であった。

酒々井宿四町(上宿、中宿、下宿、横町)の鎮守。「天王様」とも言い、牛頭天王市姫神も祭っている。八月十六・十七日に例祭が行なわれ、「飾り神輿」と「揉神輿」が町内

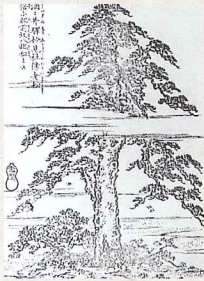
麻賀多神社(下宿) [まがたじんじや(しもじやく)] 38

酒々井の鎮守、麻賀多神社は印旛郡総鎮守と言われ、千年以上前に建立されたと伝わる。



例祭は十月十四・十五日で以前は山車(だし)巡行があり酒々井地区中を引廻した。山車人形は三代目仲秀英の作で安政六年(1859)、江戸でつくられた貴重な人形。

酒々井駅古松碑 [しすいえきこしょうひ] 41



この碑は明治三年十月に枯れた「八抱えの松」と呼ばれた巨木を記念して建立された石碑である。「八抱えの松」とは樹齢7~800年、高さ33mとも言われた老松で「成田名所図絵」にもその威容が描かれ、往時を偲ぶことができる。碑には酒々井の事績も印されている。

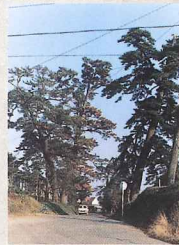
追分不動道標 [おいはけふどうどうひょう] 22

上部に不動明王坐像の彫刻が施される大型の珍しい道標。高さ1.7m。銘文には延享三年(1746)の年号が刻まれ、成田山道と書かれた一番古い例。元はトヶ崎三叉路にあった。町指定文化財。



伊篠の松並木跡 [いじのまつなみきあと] 147

国道51号線に沿った旧成田街道にあり、約800mにわたり松並木が存在していた。享保年中(1716~1735)に天領代官小宮山壺之進が植樹したと伝えられる。昭和末期にはすべて枯れてしまったが、現在でも道標・石碑が残りその面影を伝えている。



旧成田街道道標 [きゅうなりたかいどうどうひょう] 40

旧成田街道沿いには、大きさや形態が様々な道標が数多く造られ、旅人達を導いていた。

成田山護摩木山供養碑 [なりたさんごまきやまくようひ] 40

成田不動尊の護摩を焚くための材木を用立てるため、信者が寄附した土地を記念する石碑。この道筋に5ヶ所8基がある。

酒々井

ガイドマップ

~豊かな自然と歴史に
くつろぐ街:しすい~



伝・酒の井の碑

酒の井伝説

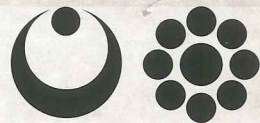
昔むかし、印旛沼の近くの村に年老いた父親と孝行息子が住んでおった。親思いの息子は毎日一所懸命働いて父親に酒を買っていたんじや。ところがある日、どうしても酒を買う金がつかれず、家に帰ろうとしていた。その時、道端の井戸から何ともよい香りが「ぶらん」としてきた。それは本物の酒だったんじや。帰って父親に飲ませると、「これはうまい酒だ。ありがたい、ありがたい。」とたいそう喜んだ。ところがこの酒は、息子以外の人がかくむとただの水になってしまふんじやな。この酒の話が広まり、この井戸を「酒の井」と呼び、村もいつしか「酒々井」と呼ばれるようになったというこじや。

酒の井の碑 [さけのいのひ] 42

酒々井の地名の起源となったと伝わり、孝子養老伝説として有名である「酒の井」を記念した伝・酒の井の碑。この地は円福院神宮寺の境内である。碑は下総地方に特徴的な室町時代前期の「供養碑(下総型板碑)」であり梵字「キリーク(阿弥陀如来)」が彫られている。いつのころからか親孝行伝説と酒の井伝説を伝承する碑として伝わっている。



中世の酒々井と本佐倉城



酒々井町の長い歴史の中で最も脚光を浴びた時代は、今から約500年前、下総守護の居城・本佐倉城が酒々井の地に築かれた百余年間です。この間、酒々井は下総の政治・経済・文化の中心として栄え、今もなおその名残りを町内に数多く見ることができます。

本佐倉城跡 [もとさくらじょうあと] 5



(浄泉寺文書・町指定)。また応永二十二年(1415)銘の銅雲板(県指定)、木造正観音立像(室町時代、町指定)など貴重な文化財が伝わる。



清光寺 [せいこうじ] 77

浄土宗。本尊は善光寺式三尊仏で正安二年(1300)の紀年銘が刻まれている(県指定)。弘治二年(1556)月峯上人が開山。天文年中、二世・峯譽無算和尚のとき徳川家康の父廣忠の分骨が安置供養される。江戸時代徳川家から朱印50石を寄進され、佐倉の城主は將軍の命により、廟所の管理をしていた。



大仏頂寺 [だいぶつちょうじ] 7

真言宗。本尊は大日如来。大同二年(807)、弘法大師の開基と伝わる。佐倉五か寺の一つで千葉氏所縁の寺院。境内東隅に「弘法の滝」があ



吉祥寺 [きちじょうじ] 69

真言宗。本尊は摩耶夫人。寺伝では大同二年(807)に弘法大師が鎮護国家のため摩耶夫人の靈像を納め、御摩耶坊と号したと伝わる。千葉氏所縁の寺院で佐倉五か寺の一つに数えられる。本寺には現在、廃寺となっている名刹「文殊寺」の本尊である室町時代初期の木造十一面観音立像(町指定)が安置されている。また絵馬の寺としても有名であるほか、弘法の井戸・魔三郎石などがある。



経胤寺 [きょういんじ] 87

一 顕本法華宗。本尊は日蓮宗大曼陀羅。康治二年(1143)、千葉常胤が母の供養のため真言宗常胤寺として建立、大永元年(1521)に改宗したと伝わる。本堂は酒々井最古の木造建造物で延宝3年(1675)のもの(町指定)。境内の巨石題目供養塔と宝篋巨塔は近隣に例を見ない。また境内裏には経胤寺館跡が所在する。



浄泉寺 [じょうせんじ] 156

曹洞宗。本尊は十一面観音坐像(室町時代、町指定)。延徳二年(1490)、千葉氏の重臣である栗飯原豊後守が大雄院三世周恩和尚を開山として建立、当初は周心院という。明応四年(1495)の栗飯原豊後入道あて千葉孝胤文書と永正六年(1509)、栗飯原右衛門あて千葉勝胤文書が伝わる

り、眼病を治し、母乳を増すと信仰されている。また寺宝の「舌出しの古鐸(鈴)」は弘法大師所持とされている密教用具で中国からの伝来品。

東光寺 [とうこうじ] 63



真言宗。本尊は胎蔵界大日如来、開基は寛元年中(1243~1247)と伝わる。千葉氏所縁の寺院で佐倉五か寺の一つ。境内に酒々井の庚申塔(町指定)、大日如来供養塔(町指定)、高幡南溪の墓などがある。

東伝院 [とうでんいん] 98

曹洞宗。本尊は釈迦無尼仏。寺伝によれば文明十年(1478)に千葉輔胤の創建、永正元年(1504)に成田市台方の超林寺五世岩松周鶴和尚が再建したと伝わる。境内には室町時代前期の下総板碑や徳富蘇峰の詩碑がある。



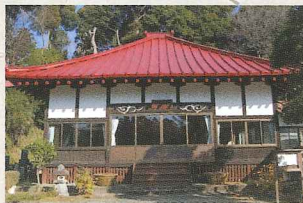
妙胤寺 [みょういんじ] 75

中山法華宗。本尊は釈迦牟尼仏。山号の常勝山。寺号は本佐倉城主千葉勝胤から一字ずつ付けられたもので勝胤家臣鈴木伊賀守が建立したと伝わる。本寺は別名清正公とも呼ばれ、加藤清正公の木像・手形がある。境内裏には妙胤寺館跡が所在する。



妙楽寺 [みょうらくじ] 141

中山法華宗。本尊は日蓮聖人の大曼荼羅。開基は天文十三年(1544)、本佐倉城主千葉利胤の御一家、木村出雲守胤重の嫡男と伝わる。本堂・庫裏とも江戸時代後期の建物と考えられ、本堂の半鐘は元文五年(1740)のもの。



文殊寺跡 [もんじゅじあと] 79

真言宗。本尊は現在吉祥寺に安置されている木造十一面観音立像(町指定)。佐倉五か寺の一つに数えられる古刹。

妙見神社 [みょうけんじんしゃ] 49 73



妙見神社は千葉氏の守護神として下総地方の各所に所在する。当町では根古谷

(写真左)と猿楽場(写真右)の二社が有名で、根古谷の社は本佐倉城跡の守護神として(元は本佐倉城内の奥の山郭にあり)、猿楽場の社は妙胤寺館跡の鬼門除けとして祀られたものである。

長勝寺脇館跡 [ちやうしょうわきかんせき] 82

発掘調査により明らかとなった16世紀の居館跡。千葉氏直臣の館と考えられ、本佐倉城跡の「総構え」に付属し、砦としての機能を担うことにより、重要な防御拠点であったと考えられる。



殿辺田城跡 [とのべたじょうあと] 139

戦国時代の城跡。城主は千葉氏の家臣と考えられる。複数の郭を備えた城で、現在でも物見台、土塁、空堀が明瞭に残る。

下岩橋城跡 [しもいわはしじょうあと] 4



本佐倉城を築城した千葉輔胤が岩橋殿と呼ばれたところに居城していたと伝えられる城跡。山の上に土塁に囲まれた場所

があり土塁には門跡が2ヶ所残る。また山全体に城の痕跡が見られ、木戸坂、東門などの呼び名も残る。15世紀後半の貴重な城跡。

◆◆ここも、チェック!!◆◆

佐倉市・勝胤寺(しょういんじ) 千葉勝胤建立の寺。
佐倉市・宝珠院(ほうしゅいん) 千葉氏祈願寺。佐倉五か寺の一つ。

獅子舞の里を訪ねる



酒々井町では墨・馬橋・上岩橋の三地区において、笛や太鼓の音にあわせ五穀豊穡・家内安全・悪疫退散などを祈願して演舞される獅子舞が残されています。これらは江戸時代から続く「三匹獅子舞」で、それぞれの地区の個性が見られ、今なお地元の方々の手により傳承されています。

上岩橋の獅子舞 [かみいわはしのしまい] 16 135 143

毎年4月の第一日曜日に駒形神社、菊賀神社、大鷲神社の順で奉納される。演目には「とおし」、「白刃」、「弓くぐり」などがある。町の指定文化財。



墨の獅子舞 [すみのしまい] 104

毎年7月の第三日曜日、六所神社で演舞される。享保十九年(1734)、六所神社新築の奉納が始まりとされる。演目は「足揃え」・「芝獅子」・「猿獅子」・「剣の舞」が傳承され、古風な形式を残す獅子舞として、県の指定文化財となる。



◆◆ここも、チェック!!◆◆

獅子頭は残るが、今は演舞が行われていない地区

- 中川地区 (西蔵院：面・太鼓が残る) 26
- 尾上地区 (住吉神社：面が残る) 127
- 伊篠地区 (白幡神社：面が残る) 152

謎…双体道祖神



◆◆ここも、チェック!!◆◆

佐倉市・大佐倉の双体道祖神 (本佐倉城内)

双体道祖神は長野・山梨・静岡・神奈川・群馬の五県を中心に見られ、他にはあまり類例が見られないというのが定説ですが、この酒々井町にはなぜか双体道祖神が9組見られます。どうして当町にこのように多く見られるのか、その信仰経路等については不明で、いまだに謎につつまれています。



53 根古谷 30 新堀 28 中川 9 柏木(2組) 6 下岩橋(2組) 136 上岩橋 128 尾上

本佐倉城跡の発掘調査(その1)

平成15年度から20年度にかけて関東の名族・千葉氏の居城である本佐倉城跡の発掘調査が行われ、多くの成果を得ることができました。城主のための空間である城山郭(主郭)からは館と考えられる大型の建物跡のほか、庭園・茶室・門・櫓などが見つかりました。また大手口である東山虎口では守りに徹した堅固な構造や大規模な造成状況が明らかとなり、関東を代表する中世城郭の様相が紐とかけられました。



自然のいとなみの中で



酒々井町は豊かな水と肥沃な大地により緑があふれ、今日まで自然の恩恵を十分に授かりながら歩んできた町です。その雄大な自然を私たちは大切に、後世に引き継いでゆかなければなりません。

印旛沼 [いんばぬま]

印旛沼は、蛇行河川が次第に土砂の堆積によって切り離され、独立した沼となったものである。古代・中世には香取の海と呼ばれ、その入り江の一つが印旛浦と呼ばれており、明治時代まで多くの河岸や渡し船が発達していた。また淡水魚や水生植物、水鳥の宝庫であり、豊かな水は印旛地区の生命の源としての役割を担っている。



上岩橋貝層 [かみいわはしかいそう] 46

約20万年前、この付近が古東京湾であったころ堆積してきた貝層。成田層下部にあり寒海系の140種類の貝化石が含まれる。学術的に貴重な資料であるため、県指定天然記念物となる。



コラム・酒々井町の誕生日は3回?!

酒々井町には誕生日が3回あることをご存じでしょうか?

- ①延徳二年(1490)八月十二日
千葉氏による城下町の誕生(町立て)。
- ②天正十九年(1591)月日不明
徳川家康による城下町の誕生(町立て)。
- ③明治二十二年(1889)四月一日
明治政府による酒々井町の誕生。
歴史の深さがうかがえます。

築山 [つきやま]

29

通称「桜山」。この地は資産家であった旧家の邸内であり、明治天皇が行幸の折に4回訪れたという。印旛沼、筑波山を眺望できる名勝地。



螢の里 [ほたるのさと]

51

「螢の里を守ろう会」と地元により保護されている螢の池で、6月上・中旬頃には源氏ボタル、6月下旬から7月末頃まで平家ボタルが見られる。



飯積の大杉 [いづみのおおすぎ] 124



伊豆神社の境内にある大杉。目通り径4.3m、推定樹齢700年(地元傳承)の巨木です。酒々井町では最大の杉として町の指定文化財となる。

◆◆ここも、チェック!!◆◆

- 飯積村道標 (いづみむらどうひょう)
上部に地蔵尊を刻む道標。寛政十一年(1799)造立。「従是東八日市ば道、…」とあり、今は忘れられたこの細い道が、江戸時代までは重要な八日市場道で、野馬の輸送路であった。町指定文化財。



125

本佐倉城跡の発掘調査(その2)

城主のための空間である城山郭(主郭)からは発掘調査により様々な遺物も見つかっています。その中には宴会の時などに館や茶室などで使用されていたと考えられるかわらけや茶道具などが見られています。戦国時代というと年中、戦いに明け暮れていたというイメージがありますが、このように発掘調査から客人や家臣を招き酒宴を楽しむ当時の人々の違った一面が見えてきました。



天目茶碗

茶臼

城山郭出土遺物

酒々井町指定文化財一覧

区分	番号	種別	名称	指定年
国	1	史跡	本佐倉城跡	H10
県指定	1	彫刻	清光寺・銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像	S56
	2	彫刻	長福寺・木造阿弥陀如来座像	S62
	3	彫刻	長福寺・木造持国天・多聞天立像	S62
	4	工芸品	浄泉寺・銅造雲版(応永22年在銘)	S52
	5	古文書	天正検地帳(下総・印東庄中台郷御縄打水帳)	S57
	6	民俗	墨の獅子舞	S42
	7	天然記念物	上岩橋貝層	S50
	8	無形文化財	武術 天真伝香取神道流	H16
町指定	1	建造物	経胤寺本堂	S52
	2	建造物	勝蔵院本堂	S52
	3	彫刻	吉祥寺・木造十一面観音立像	S46
	4	彫刻	浄泉寺・銅造十一面観音座像	S46
	5	彫刻	浄泉寺・木造正観音立像	S46
	6	彫刻	勝蔵院・木造不動明王座像	S46
	7	彫刻	松雲寺・木造阿弥陀如来座像	H3
	8	彫刻	新光寺・木造童子立像	H3
	9	古文書	浄泉寺文書二通	S46
	10	古文書	島田長右衛門家文書	S52
	11	古文書	慶長九年検地帳(小神村御縄打水帳)	H3

区分	番号	種別	名称	指定年
町指定	12	古文書	慶長九年検地帳(馬橋郷御縄打水帳)	H3
	13	古文書	慶長九年検地帳(上岩橋郷御縄打水帳)	H3
	14	歴史資料	板石塔婆(永徳三年在銘)	S46
	15	歴史資料	石造追分不動道標	S46
	16	歴史資料	佐倉七牧大絵図	S52
	17	歴史資料	酒々井駅古石碑	S52
	18	歴史資料	新光寺・柏木の庚申塔(正徳二年在銘)	S52
	19	歴史資料	本佐倉の庚申塔(享保十年在銘)	S52
	20	歴史資料	東光寺・酒々井の庚申塔(正徳元年在銘)	S52
	21	歴史資料	東光寺・大日如来供養塔(寛文十三年在銘)	S52
	22	歴史資料	飯積村道標(寛政十一年在銘)	S52
	23	歴史資料	新光寺・柏木の六地藏	H3
	24	絵画	勝蔵院・紙本着色鬼子母神図(附 紙本着色日蓮聖人図及び法華曼陀羅二幅)	H11
	25	工芸品	勝福寺鰐口	S62
	26	民俗	上岩橋の獅子舞	S46
	27	民俗	馬橋の獅子舞	S52
	28	民俗	下宿麻賀多神社の山車人形及び山車	H19
	29	史跡	カンカム口横穴群	S46
	30	天然記念物	飯積の大杉	S46



35 カンカム口出土銅碗 142 長福寺阿弥陀如来・多聞天・持国天 勝福寺鰐口 80 本佐倉の庚申塔

お祭り祈願!!
 勝は勝願!!
 勝は勝願!!

みなさんに勝利のタネ、希望のタネ、繁栄のタネをまきにやってきました。

勝胤は文武両道にすぐれ、本佐倉城及び城下町を整備し、その繁栄の基礎を築いた城主であり、右はその功績をたたえ、記されたものです。

その三代城主「勝胤」や「さきくさのたね」にあやかり生まれたのが本佐倉城マスコット「勝っタネくん」です。

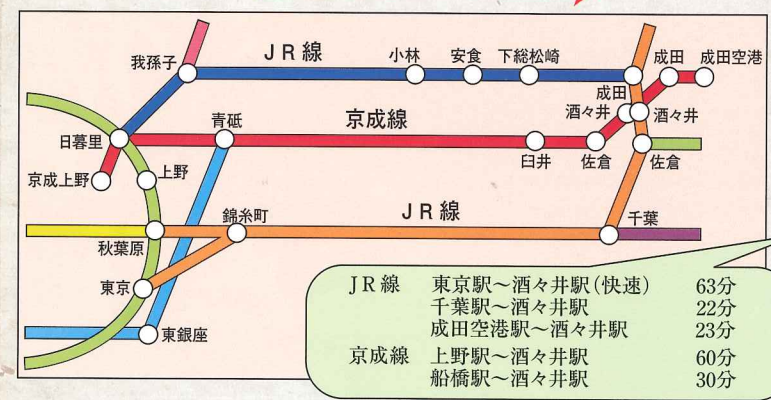
右の文は永正十一年(一五一四年)に納叟馴窓により佐倉で編纂された『雲玉和歌集』に記された文です。平のなにかし〓三代城主・千葉勝胤、作倉〓佐倉(本佐倉城とその城下、さきくさのたね)繁栄の基礎をあらわします。

平のなにかし〓申たてまつりて〓子馬の家にすくれ〓威を八州にふる〓諸道に達して〓政を両総におさめ〓中にも大和致に〓心をよせて〓作倉と申地に〓さきくさのたねをまき給

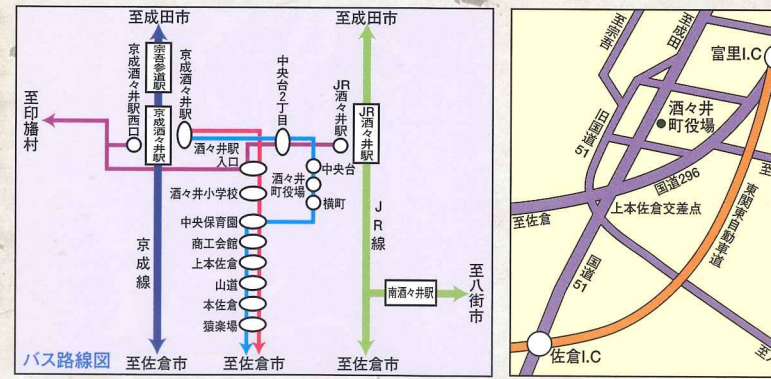
暮らし、楽しむ、しすい



アクセス ACCESS



JR酒々井駅



東関道 佐倉IC～役場 約5.9 km
 東関道 富里IC～役場 約6.2 km

〈問い合わせ〉
酒々井町
 〒285-8510
 酒々井町中央台4-11
 TEL. 043-496-1171
 2007年10月発行
 2010年2月改訂
<http://www.town.shisui.chiba.jp/>

酒々井ガイドマップ

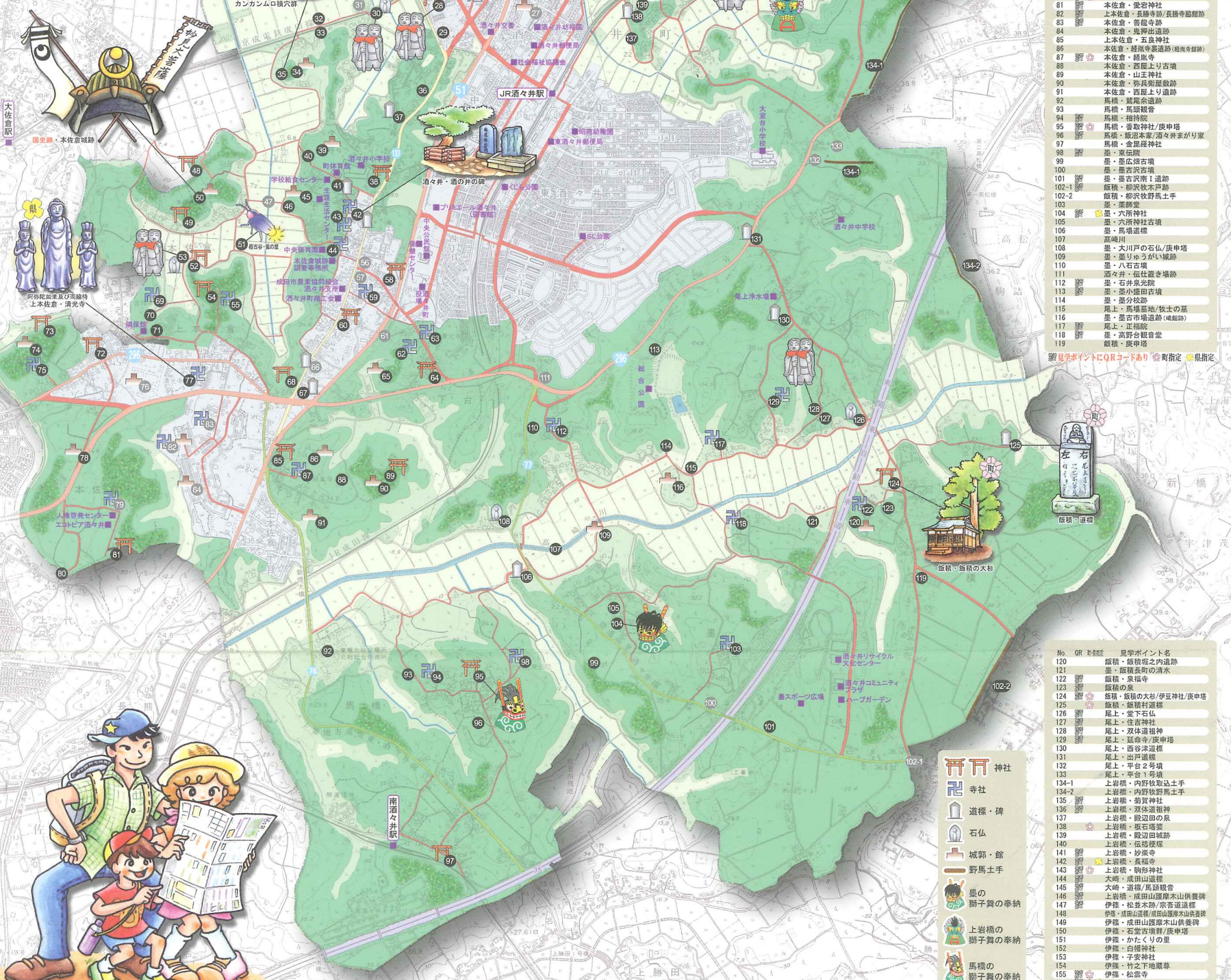
ガイドマップ in 酒々井

- | No. | QR | 名称 | 見学ポイント名 |
|-----|----|------|-----------------|
| 1 | | 下岩橋 | 仁壽古墳 |
| 2 | | 下岩橋 | 大塚古墳 |
| 3 | | 下岩橋 | 芝栗毛古墳 |
| 4 | | 下岩橋 | 下岩橋城跡 |
| 5 | | 下岩橋 | 弁天社 |
| 7 | | 下岩橋 | 双体道祖神/庚申塔 |
| 8 | | 柏木 | 七社神社 |
| 9 | | 柏木 | 双体道祖神 |
| 10 | | 柏木 | 新光寺/庚申塔 |
| 11 | | 柏木 | 在装束付の松 |
| 12 | | 柏木 | 和国/高古墳群 |
| 13 | | 柏木 | 河津跡 |
| 14 | | 柏木 | 赤雲道標 |
| 15 | | 柏木 | 復命地蔵 |
| 16 | | 上岩橋 | 大塚神社/古墳/庚申塔 |
| 17 | | 上岩橋 | レンガ倉庫 |
| 18 | | 上岩橋 | 空蔵院 |
| 20 | | 大崎 | 仁王尊遺跡 |
| 21 | | 上岩橋 | 道分不動道標 |
| 22 | | 上岩橋 | 道分不動道標 |
| 23 | | 上岩橋 | トケ崎道標 |
| 24 | | 中川 | 岩名仁王尊 |
| 25 | | 中川 | 石仏 |
| 27 | | 中川 | 高院 |
| 28 | | 中川 | 水神社/双体道祖神 |
| 29 | | 酒々井 | 雲山 |
| 30 | | 新堀 | 五山/双体道祖神 |
| 31 | | 新堀 | 河津跡 |
| 32 | | 新堀 | 岩名仁王尊遺跡 |
| 33 | | 新堀 | 庚申塔 |
| 34 | | 酒々井 | 船島跡 |
| 35 | | 酒々井 | カンカン口横穴群 |
| 36 | | 酒々井 | 下り松 |
| 37 | | 酒々井 | 下り松三山碑/庚申塔 |
| 38 | | 酒々井 | 下宿麻呂多神社 |
| 39 | | 酒々井 | 内方道跡(伝説的) |
| 40 | | 酒々井 | 藤原跡 |
| 41 | | 酒々井 | 酒々井駅古松跡 |
| 42 | | 酒々井 | 内藤院/酒の井の碑 |
| 43 | | 酒々井 | 東城寺 |
| 44 | | 酒々井 | 勝慶院 |
| 45 | | 酒々井 | 石京跡 |
| 46 | | 酒々井 | 上岩橋貝冢/内方防壁跡 |
| 47 | | 根古谷 | 下野橋跡 |
| 48 | | 根古谷 | 諏訪神社 |
| 49 | | 根古谷 | 妙見神社 |
| 50 | | 根古谷 | 本佐倉跡 |
| 51 | | 根古谷 | 堂の里 |
| 52 | | 根古谷 | 弁天社 |
| 53 | | 根古谷 | 石仏/双体道祖神/庚申塔 |
| 54 | | 内藤古谷 | 神跡 |
| 55 | | 内藤古谷 | 北野跡 |
| 56 | | 酒々井 | 高札場跡 |
| 57 | | 酒々井 | 野馬会跡 |
| 58 | | 根町 | 春日神社 |
| 59 | | 酒々井 | 地蔵堂跡 |
| 60 | | 酒々井 | 八坂神社 |
| 61 | | 酒々井 | 狐塚古墳 |
| 62 | | 下台 | 風野堂 |
| 63 | | 酒々井 | 見光寺/庚申塔/大日如来供養塔 |
| 64 | | 下台 | 斯賀多神社 |
| 65 | | 下台 | 下台跡 |
| 66 | | 酒々井 | 一里塚跡 |
| 67 | | 上本佐倉 | 芝山道標 |
| 68 | | 酒々井 | 大塚神社 |
| 69 | | 根古谷 | 百神寺 |
| 70 | | 根古谷 | 文や坂 |
| 71 | | 上本佐倉 | 鬼塚古墳 |
| 72 | | 酒々井 | 白山神社 |
| 73 | | 猿塚 | 妙見神社 |
| 74 | | 本佐倉 | 妙見寺跡 |
| 75 | | 本佐倉 | 北大塚御殿山跡 |
| 76 | | 本佐倉 | 北大塚御殿山跡 |

- | No. | QR | 名称 | 見学ポイント名 |
|-------|----|------|-------------|
| 77 | | 上本佐倉 | 清光寺 |
| 78 | | 本佐倉 | 大塚切跡 |
| 80 | | 本佐倉 | 庚申塔 |
| 81 | | 本佐倉 | 愛宕神社 |
| 82 | | 上本佐倉 | 長崎寺跡/長崎寺跡跡 |
| 83 | | 本佐倉 | 青龍寺跡 |
| 84 | | 本佐倉 | 長崎寺跡 |
| 85 | | 上本佐倉 | 五良神社 |
| 86 | | 本佐倉 | 経福寺遺跡(経福寺跡) |
| 87 | | 本佐倉 | 経福寺 |
| 88 | | 本佐倉 | 西屋上り古墳 |
| 89 | | 本佐倉 | 西屋上り神社 |
| 90 | | 本佐倉 | 勇兵衛屋敷跡 |
| 91 | | 本佐倉 | 西屋上り遺跡 |
| 92 | | 馬橋 | 藤尾余道跡 |
| 93 | | 馬橋 | 馬跡 |
| 94 | | 馬橋 | 馬跡 |
| 95 | | 馬橋 | 香取神社/庚申塔 |
| 96 | | 馬橋 | 藤沼家/酒々井まがり家 |
| 97 | | 馬橋 | 金屋神社 |
| 98 | | 馬橋 | 東石段 |
| 99 | | 馬橋 | 豊広古墳 |
| 100 | | 馬橋 | 豊古沢古墳 |
| 101 | | 馬橋 | 豊古沢南1道跡 |
| 102-1 | | 飯積 | 柳沢秋木跡 |
| 102-2 | | 飯積 | 柳沢秋野高土手 |
| 103 | | 飯積 | 豊薬師堂 |
| 104 | | 飯積 | 六所神社 |
| 105 | | 飯積 | 六所神社古墳 |
| 106 | | 飯積 | 馬場道標 |
| 107 | | 飯積 | 高院跡 |
| 108 | | 飯積 | 大川戸の石仏/庚申塔 |
| 109 | | 飯積 | 豊りゅうがの城跡 |
| 110 | | 飯積 | 豊八石古墳 |
| 111 | | 酒々井 | 庄屋重き堀跡 |
| 112 | | 酒々井 | 豊石井光跡 |
| 113 | | 酒々井 | 豊小塚古墳 |
| 114 | | 酒々井 | 豊分校跡 |
| 115 | | 尾上 | 馬塚跡/牧士の墓 |
| 116 | | 尾上 | 豊古市場跡(城跡) |
| 117 | | 尾上 | 豊古市場跡 |
| 118 | | 尾上 | 高野合観音堂 |
| 119 | | 飯積 | 庚申塔 |

見学ポイントにQRコードあり 町指定 県指定

見学ポイントにQRコードあり 町指定 県指定



- 神社
- 寺社
- 道標・碑
- 石仏
- 城郭・館
- 野馬士手
- 亀の獅子舞の奉納
- 馬橋の獅子舞の奉納
- 双体道祖神